

三重県史

資料編

近代
政治行政 I

1

目次

口	絵	表紙題字	知事	田川亮三
序				
凡例				
総合解説				1

第一章 県政基盤の成立

第一節 戊辰戦争

一 戊辰戦争の発端	
1 徳川慶喜の決起と桑名藩	44
2 津藩へ王事勅励の勅書	44
3 徳川家追討につき津藩へ勅書	45
4 津藩、勅書に対し請書を提出	46
5 津藩より幕軍への訣別状	46
6 津藩兵の戦闘	47
7 藤堂勢の砲撃	47
8 藤堂帰雲の奔走	48
9 津藩主および朝廷より山崎戦の慰労	48
10 徳川慶喜および随従者の処分	49
11 戦乱の風聞	50
二 諸藩の対応	
12 亀山藩、勅命により鈴鹿峠を警固	51
13 菟野藩の参陣	51
14 徳川慶喜、津藩主に弁疎を依頼	52
15 高松藩主、津藩へ恭順書の斡旋依頼	53
16 鳥羽藩、総督へ歎願書を提出	54
17 亀山藩の黒田騒動	55
三 桑名藩の開城と謹慎	
18 桑名藩主松平定敬の行動	57
19 桑名表の老臣より歎願書提出	57

20	桑名藩、歎願につき家中へ申し触れ	58
21	桑名藩政担当者の引責	58
22	津藩兵、桑名へ進攻	59
23	桑名追討軍、四日市へ出張	59
24	桑名松平万之助の恭順	60
25	松平万之助および随従者	61
26	松平万之助、家中領民へ直書	62
四 東征への参加		
27	津藩、東征軍先鋒を拜命	63
28	神戸藩ら、東征軍の継立等を拜命	63
29	津藩、東征参加軍の概況	64
30	津藩、東征軍へ参加	65
第二節 行幸と神宮参拝		
一 東		
31	東幸の道筋を治定	66
32	東幸、関駅に駐蹕	68
33	関宿での泊輦	69
34	謹慎中の桑名藩士姓名を録上	71
35	津藩主、桑名藩士に対する寛典を稟上	72
36	東幸における助郷	73
二 再幸と神宮参拝		
37	還幸・再幸の趣意と勅使の派遣	74
38	再幸につき布告	75
39	度会府の治道に対する指示	76
40	行幸についての心得	77
41	再幸の行程を治定	78
42	行幸警衛の心得	79
43	天皇参拝の儀	80
44	天皇の宇治・山田出輦	81
45	津駅泊輦の混雑	82
第三節 度会府・県の新設		
一 度会府の設置		
46	度会府知事の任命	83
47	度会府設置と山田奉行廃止	84

48	度会府の開府	84
49	度会府の主要職員	85
50	度会府の職員分課	85
51	度会府庁	86
52	度会府庁を元・三方会合所へ移転	87
二 度会府の諸制		
53	度会府、在市へ布達	87
54	度会府の租法	88
55	度会府に付属米の下付	89
56	神領年貢を度会府が所轄	90
57	神領無税地につき在市へ布達	90
58	田畑等取調べにつき布達	90
59	鳥羽藩兵、度会府警衛を拜命	91
60	元奉行所組同心を度会府に配属	91
61	度会府に仮府兵を設置	92
62	宇治会合・山田三方会合の廃止	92
63	府議事院設置の趣意	92
64	府議事院議員の選定	93
65	府議事院の開設	95
66	度会府における銀札の発行	95
67	町居住者への課税	96
三 度会県の治政		
68	度会府を度会県と改称	97
69	度会県職員の任免	97
70	度会県管轄の異動	97
71	宇治山田における議事・議員の廃止	99
72	度会県印の下付	99
73	久居県兵の神宮警衛を免除	99
第四節 新政下の藩政		
一 版籍奉還		
74	津藩の版籍奉還	100
75	菰野藩の版籍奉還	101
二 知藩事の任命		
76	知藩事の一覧	103
77	和歌山藩・新宮藩知事の任命	104

134	新県官員の亀山出張	178	151	民費取扱い始末の改正	205
135	四日市へ県庁移転につき願ひ	179	152	土木費の賦課	207
136	県庁移転の届け	180	153	警保の概要	209
137	三重県と改称につき布達	180	154	邏卒の配置	210
138	戸籍法による区画	180	155	徴兵議員の構成	212
139	津へ県庁再移転につき願ひ	181	五 度会県の治政		
140	津へ県庁移転完了の届け	183	156	県治の沿革	213
四 旧三重県の治政			157	県治管轄の收受	216
141	県治の概要	183	158	区画の変更と区長の任命	216
142	県庁分課の変遷	185	159	警保の概要	218
143	県庁中の諸則	187	160	県官の裁判官兼務	220
144	大小区画と民吏配置	190	第六節 大三重県の成立		
145	戸長以下の職掌	192	一 度会県との合併		
146	大・小区扱所の職務定制	195	161	度会県を三重県へ合併	221
147	第六大区五之小区の総計表	198	162	旧度会県管轄を三重県へ收受	222
148	三重県・度会県の県界改定	200	163	旧度会県收受につき引継事務	222
149	租法	202			
150	民費の賦課	204			

二 大三重県の治政

164	支庁の設置と廃止	224	1	旧税法の概況	234
165	北部と南部の行政区画	224	2	貢租は旧慣による旨を布達	235
166	県税規則	227	3	貢米・石代金の上納期限	235
167	警察区の編制	228	4	石代の平均相場	236
168	三重県裁判所の設置	230	5	貢租の米納・金納の区別	237
169	山田裁判支庁の開庁	230	6	石代金の上納期限につき伺ひ	237
170	地方裁判所の管轄区域	230	7	貢租の三度納は昨年限につき通報	238
171	支庁および区裁判所の開庁	231	8	貢租上納期限の延期につき通報	239
172	囚獄懲役場を監獄署と改称	232	9	正租石代金の村割賦	239
173	津監獄署の改称	232	二 地券の交付		

第二章 地租改正と伊勢暴動

第一節 地租改正

一 貢租の金納化

17	地券取調べ関係者の誓文につき口達	244	10	壬申地券の発行につき布達	240
16	地券事業勉強につき申達	244	11	地券取調べにつき布達	241
15	三重県の地券掛	243	12	地券渡し方遅延につき申立て	241
14	地券掛任命につき伺ひ	242	13	田畑等取調べにつき布達	242
13	田畑等取調べにつき伺ひ	242	14	地券掛任命につき伺ひ	242
12	地券渡り方遅延につき申立て	241	15	三重県の地券掛	243
11	地券取調べにつき布達	241	16	地券事業勉強につき申達	244
10	壬申地券の発行につき布達	240	17	地券取調べ関係者の誓文につき口達	244

三 旧三重県の地租改正

18	地租改正と地価取調帳の提出	245
19	地価取調帳の処置につき通報	246
20	公量人の公選につき指示	246
21	公量人の勤務規則	247
22	公量人の任命	247
23	伊賀国郡村へ申し諭し	248
24	租税は旧慣据置きと布達	249
25	地租改正につき人民心得書の布達	250
26	地租改正につき巡回督責	252
27	地位収獲取調べ凡例の布達	253
28	代議人の選出	254
29	地租改正費用仕訳の進達	255
30	伊勢国田位表の決定	255
31	鈴鹿郡の畑位・宅地位表	259
32	租額の仮割賦	262
33	実地審量の行事記	263
34	第八大区の利銖区分村位表	268

35 地券状用紙につき届け

四 度会県の地租改正

36	地租改正につき説諭書の布達	270
37	地租改正実地取調べの心得	272
38	度会県の地租改正係	273
39	地租改正係出張所の設置	274
40	地租改正地所取調べの概則	275
41	村位の鑑定	276
42	南勢各郡の田位表	277

第二節 伊勢暴動

一 伊勢暴動の端緒

43	米価下落につき拝借金の歎願	281
44	石代引直しにつき歎願	282
45	被災五か村より上納につき歎願	283
46	抵当預り米につき達	285
47	第八区全村、上納方につき歎願	287
48	上納難渋につき歎願	289

49 総百姓による歎願の大意

50 人民動揺につき請願上申

二 伊勢暴動の勃発

51	暴動状況につき急報	291
52	人民暴動の儀につき電報	292
53	名古屋鎮台より暴動状況の電報	292
54	大阪鎮台兵の派遣	293
55	警視庁巡査の派遣	294
56	人民暴動につき県令より上申	295

三 伊勢暴動の実況

57	中勢の暴動状況	297
58	安濃郡の土寇記事	299
59	南勢の暴動状況	302
60	北勢の暴動状況	304
61	大矢知懲役場の状況報告	307
62	山田懲役場の状況報告	308
63	愛知県からの暴動状況報告	308
64	岐阜県からの暴動状況報告	309

四 暴動に対する鎮撫

65 鎮台兵・巡査入県し鎮静につき布達

66	鎮撫要旨につき達	310
67	第八区村々の赦罪書	311
68	離散の者無きにつき請書	312
69	暴動群集の状況につき届け	312
70	動揺につき始末上申書	313
71	中川九左衛門らの護送	315
72	鎮撫探偵捕縛方雇いにつき状況報告	316
73	動揺状況につき報告	316
74	歎願書の取消し願	317
75	暴動件につき始末書を提出	319
76	暴動状況につき加太村の届け	322
77	暴動状況につき第一〇大区内小区扱所の届け	323
78	人民挙動につき大方籠の請書	324
79	人民挙動につき木本浦の届け	324
80	建物事前破却につき届け	325
81	鎮台兵の宿舎につき伺	326

82	警部・巡査の配置	327	97	絞首刑の判決	359
83	県長官らの各区巡回日割	328	98	暴動発端関係者への申渡書	367
五 暴動被害等の調査			99	随行士族への申渡書	369

第三節 新地租への合法的抵抗

一 桑名郡力尾村

84	小区扱所の罹災取調書	329	100	田畑宅地収穫米麦の承諾書	370
85	暴動による被害届	330	101	御示反米麦降等の願い	370
86	暴動による学校の被害	331	102	田位維持困難につき願い	371
87	岐阜県における学校の被害	332	103	田位降等の願い	372
88	暴動の際、士族募集につき上申	333	104	新地租に苦情申立ての力尾村処分につき伺い	374
89	暴動の際、士族警固状況の届け	334	105	明治一〇年分地租の上納猶予願	377
90	不審応募者の可否につき伺い	334	106	力尾村の地租未納額	378
六 暴動件の集約			二 朝明郡三か村		
91	暴動起原	335	107	明治八年分未納地租につき願い	379
92	土寇の際、庁中日誌撮要	338	108	明治八年分旧租据置き願いへの回答案	380
93	賞与手当および救助標準	344	109	明治八年貢租上納につき歎願と県令の回答	380
94	暴動被害等の諸表	346			
95	暴動件における區別死傷焼毀表	352			
96	暴動罹災者へ手当金下賜	358			
七 暴動関係者の処罰					

第三章 県会開設と自由民権運動

第一節 明治一〇年代の行政

一 三新法体制の準備

(1) 郡区町村編制の伺い

110	明治八年旧租据置き歎願と郡長意見	382	125	旧度会県地域の地租改正伺いと付属資料	405
111	地租改正事務局の回答と県令の指示	384	126	増租村数とその金額調べ	408
112	地租改正局へ出願につき県令の添書下付願	385	127	地租改正に係る府県経費および民費計算表	409
113	明治八年分地租につき歎願	387			
114	地租改正局への歎願につき県令の添書	389			
115	地租改正局総裁より願意却下の達	391			
三 抵抗運動の收拾策					
116	全県下の地租不納状況	391			
117	御救助扶食金の拝借願	393			
118	力尾村および朝明郡三か村への対策願末書	394			
119	貧村扶食拝借の伺い	397			
120	明治八年分未納地租につき願い	397	1	牟婁郡の南北分割につき伺い	412
121	明治八年未納地租救助金として貸し下げ	398	2	二郡一郡長制の伺い	413
122	竹成村地租金延納許可処分の伺い	399	(2)	郡区町村編制の建言	
123	竹成村地租年賦延納につき再上申と回答	401	3	町村区画改正につき建言	414
第四節 新しい地租			4	戸長配置につき建言	416
124	旧三重県地域の地租改正伺いと付属資料	402			

二 県境界の確定

(1) 沿革

5	三重県管轄および本庁沿革	417	19	庁舎落成と職務開始につき上申	434
(2)	三重・愛知両県の境界更正		20	県庁新築の功労者への褒賞	435
6	三重・愛知両県境の査定	418	21	庁舎平面図	435
7	愛知県へ桑名郡一五か村引渡し	421	(2)	課・掛の編成	
(3)	三重・岐阜両県境の更正		22	県庁課掛名の改定	439
8	三重・岐阜両県境更正につき内務卿達	422	(3)	三重県庁の処務細則	
9	岐阜県へ桑名郡三か村引渡し	422	23	県庁処務細則の制定	439
三 県行政機構の確立			24	県庁処務細則の改正	452
(1)	県庁舎の新築		(4)	公 布 式	
10	県庁新築予定地につき伺い	423	25	本県布達・達・報告の凡例	453
11	県庁新築につき地所等概算仕訳書	424	26	本県布達・達・報告・告示の凡例改正	453
12	県庁新築地の図	426	27	本県布達の施行期限	454
13	県庁敷地につき内務卿の上申	427	28	本県布達郡役所への到達日数を規定	454
14	県庁新築につき伺い	427	29	本県布達等を伊勢新聞・作新日報に登載	455
15	県庁新築につき内務卿の伺い	429	30	本県公文例の制定	456
16	県庁新築許可につき新聞報道	430	31	三重県公報の発行	457
17	県庁新築の許可につき公達	431	四 郡役所の設置		
18	県庁新築の精算書	431	(1)	郡役所の開設	

32	郡治分画	457	48	三新法の便否見込書	489
33	初代郡長の選任	458	49	三新法につき意見上申	495
34	郡長・郡書記の職制	459	(4)	郡制に関する建議	
35	郡務施行順序の概略	460	50	郡治分画・戸長配置につき意見書	497
36	各郡役所の開庁日程	464	51	県会の郡長公選建議	498
37	鈴鹿郡役所の告示・達の凡例	465	52	郡役所統合の建議	498
38	安濃郡役所史要稿	465	五 町村制度		
39	安濃郡郡治概要の上申	469	(1)	戸長の配置	
(2)	郡長等の職務		53	各郡戸長配置の人員表	500
40	郡長・戸長の職務	473	54	戸長選挙法	502
41	郡長処務上の心得	474	55	鈴鹿郡の戸長選挙順序	503
42	郡長への委任条件	475	(2)	戸長職務	
43	郡長への委任条件の改正	476	56	戸長職務取扱上の心得	504
44	多気郡内各村の連合会規則	479	(3)	戸長配置法の建議	
45	郡長への委任条件の改正	483	57	戸長を各町村に設置するの建議	505
46	郡役所事務成績その他具申条項	486	58	明治一五年の戸長月給等級表	506
(3)	三新法施行に関する各郡長の意見		59	多気郡五桂村の村則第一号	509
47	一志郡長の郡治意見上申	487	(4)	戸長公選管轄区域の拡大	

目次	60
戸長公選廃止につき内務卿の訓示	510
戸長選挙法の廃止	512
区町村会法改正による戸長役場配置	512
(5) 町村会規則	513

(3) 明治一〇年代の財政状況	510
明治一二〜一四年の地方税・協議費の収支概況	540
明治一五〜二一年の地方税・町村費の収支概況	542

61	町村会規則	512
62	町村会規則	512
63	町村会規則	513
64	飯高郡松阪の内、三町の町会議員選挙	515
65	町村会および連合町村会規則の制定	516
66	一志郡波瀬村会の議事細則	521
67	町村会および連合町村会規則の改正	523
68	町村費規則の制定	526

74	明治一五〜二一年の国税納税額および人員	546
75	明治一五〜二一年の国税滞納金額および人員	548
76	明治一六〜二一年の地方税不納金額	548
77	明治一五〜二一年の国税納税額	547
78	明治一五〜二一年の国税滞納金額および人員	548

六 地方財政

69	明治一二年年度の地方税支出予算	527
70	営業税・雑種税・地租割税・戸数割税の制定	530
71	明治一二年年度の地方税徴収予算	535
72	地方税徴収期限の制定	536
73	地方税の徴につき建言	537

79	河港・道路・橋梁の建築修繕法	550
80	仮称県道以上の道路等修築費を地方税で支弁	551
81	旧三等河港道路等修繕費の補助規則	552
82	府県土木費に対する国庫補助の廃止	555
83	町村土木補助費支弁法改正の儀につき建言	555
84	土木費支弁法	557
85	土木費支弁法の改正	558
86	土木取扱条例の制定	566

87	本県土木監督区画および事務条規	570
88	本県土木監督区署の事務手続	570
89	土木取扱条例の改正	571

第二節 明治一〇年代の県会

一 県会の開設

90	県会議員の定数割	575
91	安濃ほか三郡の県会議員選挙の状況	576
92	第一回県会議員選挙当選者の氏名	577
(2) 第一回通常県会		
93	第一回通常県会の開会	578
94	第一回通常県会の日程案	578
95	第一回県会開会における県令の演説	581
(3) 県会規則等		
96	三重県会の議事細則	581
97	県会議事傍聴人の取扱手続	584
98	県会議事傍聴心得	585

二 県令と県会の対立

99	常置委員総則	585
(4) 県会議場の新築		
100	津城内建物を県会議場に借り受け	586
101	新県会議事堂の開場記念式	587
102	県会議事堂の建築費精算額	590
(1) 明治一三年の県会事件		
103	明治一三年地方税支出予算案中の甲第七号修正	591
104	甲第七号原案執行・地租賦課金の追加徴収	593
105	各県の郡長等給料比較表	594
106	県会議員三一人の連名辞表	595
107	辞表の儀につき上申	597
108	辞任議員の帰郷届	598
109	議員辞職の件につき願末上申	599
(2) 県会外での抵抗		
110	府県会規則第五条改正の建議	603
111	地租割追加徴収の達に関する伺い	607

112 木村誓太郎らの訴状 608

113 木村誓太郎らの行政訴訟に関する司法卿の
伺いと太政大臣の指令 611

(3) 明治一五年常置委員滞在問題

114 県令と県会との権限につき具状書 612

115 同前につき県令からの事由書 613

116 同前につき参事院の審明 615

第三節 地価修正運動と自由民権

運動

一 地価修正運動

117 木曾川改修工事に国库支出を求め建議 617

118 木曾川改修工費の年度支出割 618

119 治水堤防費支出予算原案および決議 627

120 県会決議不認可の件につき伺いと指令 629

121 知事、否決原案を執行 630

122 桑名郡に対する木曾川改修土木費支弁法 631

(2) 四日市港修築問題

123 四日市港修築の諮問案と県令の説明 632

124 四日市港修築の答議案趣意書 634

125 員弁郡北大社村地主総代の地価修正願 635

126 員弁郡北大社村地主総代の地価修正願 636

127 員弁郡役所作成の請願村取調表 637

128 朝明郡中野村地主総代の上申 664

129 朝明郡中野村の地価修正願 665

130 英虞郡越賀村地主総代の地価修正願 668

131 地価修正請願村の一覧 670

二 自由民権運動

(1) 演説会の状況

132 県下最初の大衆的演説会 671

133 津・告志社の定期演説会 672

134 志摩郡鳥羽修志社の勧誘状 673

135 桑名漸芳社の演説会 674

136 県下最初の演説会届出規則 674

137 集会条例制定後の演説会届出規則 675

(2) 主要な民権結社

138 第一回県下有志連合会の状況 675

139 有志連合会の第二回大会 677

140 志勢同盟会の創立と度会郡の役員 678

141 志勢同盟会の規約書 678

142 『志勢雑誌』社告および緒言 680

143 志勢同盟会の巡回演説 682

144 三重改進黨結成および役員 683

145 三重改進黨盟約および党則 684

146 三重改進黨黨員名簿等の届出 686

147 県下結社の状況 687

(3) 建白書

148 木村光綱の国会開設建白書 689

第四節 治安・軍事

一 警察

149 警察官の配置 693

150 警察区画 694

警察官の職制章程

151 警察官の職制章程 695

152 違警罪の制定 699

153 違警罪の状況 701

二 消防

154 消防組と火災 702

155 消防組設置につき指示 702

三 裁判所

156 名古屋控訴裁判所の管下一覧 703

157 裁判区画 704

158 山田始審・治安裁判所の開庁 705

159 三重重罪裁判所の開廷 706

160 安濃津始審裁判所の処務時間 706

161 名古屋控訴裁判所管下区画の改定 707

四 監獄

162 津既決監と未決監との合併 708

163 監獄署の規模と監獄官 709

164 監獄本署を廃し支署を昇格 711

165 監獄の規模と在監人員 711

五 徴兵

166 徴兵管轄の改定 713

9 町村事務等に関する旧償取調べ(奄芸・

河曲郡) 728

10 町村事務等に関する旧償取調べ(員弁郡

北大社村) 730

第四章 地方体制の確立

第一節 市制町村制の施行

一 市制町村制の取調べ

(1) 第一段階

1 町村合併標準の内訓 716

2 阿拝・山田郡長の取調べ上申 719

(2) 第二段階

3 町村制取調べの訓令 719

4 明治二一年の戸長役場数 721

5 戸長役場費の新旧比較表 722

6 町村役場費予算の見積り 723

7 町村制実施法取調べにつき通牒 726

8 阿拝・山田郡町村制取調べ上申書案 726

一一 各町村の意向と意見上申

(1) 桑名郡 739

(2) 奄芸・河曲郡 744

(3) 安濃郡 746

(4) 飯高・飯野郡 748

16 合併村および村名の件につき意見上申 744

17 津に市制実施の動き 746

18 飯高郡垣鼻村組合戸長より上申 748

(3) 第三段階 730

11 郡長会議での知事演達の大意 732

12 戸長への内論 734

13 諮問順序 736

14 郡長より知事への具申書調製につき心得 737

10 町村事務等に関する旧償取調べ(員弁郡

北大社村) 730

(3) 第三段階 730

11 郡長会議での知事演達の大意 732

12 戸長への内論 734

13 諮問順序 736

14 郡長より知事への具申書調製につき心得 737

15 桑名郡有志の自治区造設建議と郡長意見 739

(2) 奄芸・河曲郡 744

(3) 安濃郡 746

(4) 飯高・飯野郡 748

16 合併村および村名の件につき意見上申 744

17 津に市制実施の動き 746

18 飯高郡垣鼻村組合戸長より上申 748

19 飯高郡大口村組合戸長の請書 748

(5) 度会郡

20 宇治・山田に市制施行を希望する上申書 749

(6) 阿拝・山田郡

21 小田村人民総代よりの答申書および新地住民

意見書 756

22 阿拝郡御代村総代人の答申書 758

23 町村制実施にかかる新町村編成につき追申書

..... 759

24 阿拝郡新壬生野村組織予定四か村の特約証

..... 759

三 郡での諮問会の状況

25 一志郡川口村での諮問会招集と総代選出 760

26 答志・英虞郡役所への出張の復命書 762

27 北牟婁郡への出張の復命書 768

四 市制町村制の実施

(1) 津市

28 津市制の内定 776

29 第一回市制施行地の指定 776

30 津に合併する町村 777

44 有給吏員設置等の抑制を求める内訓 810

45 本県下町村吏員の人員および月俸一覧 812

第二節 地方行政機構の整備

一 県行政

(1) 本庁処務細則

46 三重県庁中処務細則の改正 813

47 三重県庁中処務細則の改正 814

(2) 収税部事務取扱

48 三重県収税部出張所の配置 815

(3) 県令等の公布式

49 県令・郡令の公布方法 816

二 郡市町村の行政

(1) 町村行政事務の監督強化

50 町村行政事務監督強化の内訓 816

51 町村巡視規程の制定 818

52 町村および公共組合出納検閲規定の制定 820

(2) 町村役場

53 町村役場処務規程準則の制定 821

54 市町村事務報告例の制定 823

三 県財政の構造

55 明治二一〜二六年度の県財政(歳入) 826

56 明治二六〜三〇年度の県財政(歳入) 827

57 明治二一〜二六年度の県財政(歳出) 828

58 明治二六〜三〇年度の県財政(歳出) 829

59 明治二〇年代の市町村財政(累年歳入) 831

60 明治二〇年代の市町村財政(累年歳出) 832

61 明治三〇年度末の市町村基本財産 834

第三節 帝国議会開設と政党

一 国会開設直前の政治運動

(1) 私擬憲法案

62 伊勢新聞社の私擬憲法案 836

(2) 政治結社とその運動

63 第一回三重県有志懇親会 838

64 第二回三重県有志懇親会 839

65 三重同志会の決議録 841

66 三重協同会の結成 842

67 三重県有志の建白書(案) 842

68 三重協同会の総会 850

69 三重同志会の総会 851

70 三重同志会から県会議員退会 852

71 斯友会の結成 853

72 三団体合併の協議 854

73 三重協同会の総会 855

74 斯友会総会の決議 856

75 三重同志会の解散 856

76 斯友会へ旧同志会員合流 857

77 三重協同会の臨時総会 859

78 度会郡有志の条約改正中止建白書 860

79 阿拝郡での政談演説会開会届と許可状 865

80 三重倶楽部の結成 866

81 非政社派による斯友会の存続 868

二 大日本帝国憲法の発布

53 町村役場処務規程準則の制定 821

54 市町村事務報告例の制定 823

三 県財政の構造

55 明治二一〜二六年度の県財政(歳入) 826

56 明治二六〜三〇年度の県財政(歳入) 827

57 明治二一〜二六年度の県財政(歳出) 828

58 明治二六〜三〇年度の県財政(歳出) 829

59 明治二〇年代の市町村財政(累年歳入) 831

60 明治二〇年代の市町村財政(累年歳出) 832

61 明治三〇年度末の市町村基本財産 834

第三節 帝国議会開設と政党

一 国会開設直前の政治運動

(1) 私擬憲法案

62 伊勢新聞社の私擬憲法案 836

(2) 政治結社とその運動

63 第一回三重県有志懇親会 838

64 第二回三重県有志懇親会 839

82 明治憲法発布日の『伊勢新聞』社説 869

83 津での憲法発布祝賀会 870

三 貴族院多額納税者議員選挙

84 貴族院多額納税者議員互選者名簿 872

85 貴族院多額納税者議員の互選会 884

四 第一回衆議院議員選挙

(1) 選挙の状況

86 第二区の候補者予選会 885

87 津市新町の投票場の模様 887

88 第一区の開票場風景 887

(2) 選挙結果と論評

89 第一回選挙翌日の知事訓示 889

90 第一回総選挙の結果 890

91 衆議院議員選挙後の実況 891

五 第二回衆議院議員選挙

92 衆議院解散に際しての知事訓令 891

93 尾崎行雄推薦・非推薦の対立 892

94 栗原亮一の落選 894

六 国会開設以後の政治結社

(1) 県下団体の連合問題

95 三重倶楽部結成の動き 986

96 三重倶楽部に関する『伊勢新聞』社説 897

97 三重倶楽部結成の失敗 899

(2) 自由党系結社

98 三重県における立憲自由党大懇親会 904

99 三重県自由党支部組織会 906

100 自由党三重支部の発会式 908

101 『伊勢新聞』、自由党機関誌となることを宣言 908

102 『伊勢新聞』、党派からの独立宣言 910

(3) 改進黨系結社

103 三重県各地における改進黨大会 913

七 県会議員の政党系列化

104 県会議員半数改選の結果 915

105 県会議員の政党所属一覧 916

第四節 県下の政治動向

一 地価修正運動

106 地価修正論者の運動方針 918

107 地価修正運動開始の経緯 919

108 地価修正および地租軽減の請願趣意書 920

109 阿拜郡玉滝村の干害地地価修正の請願書 924

110 朝明郡の特別地価修正請願陳情書 926

一一 田中警部長排斥事件

111 新任田中警部長への辞職勧告書 929

112 臨時三重懇話会 931

113 田中警部長の転任を求める陳情書 932

114 奄芸河曲民友会沿革の大略 936

115 田中警部長排斥の諸方策案 937

116 田中警部長転任建議と県会中止 938

117 県会、継続会を開会 940

三 土木費負担問題

118 濃尾大震災の復旧工事に国庫補助を求める理由書 941

119 木曾三川工事設計の再調査を求める建議 942

120 大水害復旧工事に十分な国庫補助を求める建議 944

121 木曾三川工事予算の更正予算議案 946

第五節 その他の行政・司法機関

一 警察

122 警邏管区と駐在巡査 947

123 外勤巡査の勤務 950

124 警察署の区画 951

125 政談演説の取締り 953

126 警察区画 955

127 消防組と出火消防規則 957

128 消防組の体制 961

二 裁判所

129 安濃津地方裁判所の区画 964

130 初めての弁護士登録 967

131 安濃津地方裁判所所属の弁護士会結成 967

三 監獄

132 監獄署の状況 970

四 軍隊

133 軍人待遇町村申合せ規約 972

134 陸軍常備団隊の配備 974

135 陸軍管区の制定 976

136 陸軍管区の改正 978

五 日清戦争

137 日清戦争下の徴兵人員および徴発の状況 980

138 第二回軍事公債応募高 983

139 第三師団兵士へ防寒具寄贈の運動 984

140 飯高・飯野郡の胴衣寄贈運動 985

141 度会郡の日清戦争における戦病死者 986

第五章 日清戦後経営から日露戦争へ

第一節 府県制の施行

一 郡制の施行

1 三重県下郡廃置法の公布 992

2 三重郡ほか五郡役所の開庁 993

3 本県に郡制を施行 993

4 度会郡会議員選挙の景況報告 993

5 一志郡八ツ山村等三か村選出の郡会議員選挙録 995

二 府県制の施行

6 明治三二年度鈴鹿郡の歳入出予算案 998

7 郡制改正後の郡会議員選挙状況 999

8 本県に府県制を施行 1001

9 県参事会設置とその権限 1001

10 県会議員総定数と郡市別議員数 1002

11 府県制施行後最初の県会議員選挙 1002

12 府県制改正直後の県会議員選挙 1004

三 市町村の再編

(1) 四日市市制 1007

13 四日市市制実施の請願書 1007

14 四日市市制施行の告示

(2) 宇治山田市制 1010

15 宇治山田町に市制施行の意見書 1010

16 宇治山田市制施行の告示 1011

第二節 県会の政党化

一 中央政党支部の結成

17 進歩党三重支部の設置 1012

18 憲政党三重県支部の発会式 1012

19 憲政党(旧自由党派)三重支部の結成 1017

20 立憲政友会三重支部の発会式 1017

21 立憲政友会三重県支部の規約 1019

二 役員をめぐる党争

22 県会役員選出の軋轢 1020

23 役員選出をめぐる各派の交渉 1021

24 三重県会の現状 1022

三 非政党的地方結社

25 三重県政研究会趣意書および仮規約 1024

第三節 積極政策と地方利益

26 県政研究会に寄せる『伊勢新聞』の期待 1026

27 三重県政研究会の発会式 1027

28 三重同志会の趣意書 1028

29 『伊勢新聞』の社説「政党と地方議会」 1029

一 中学校増設問題

30 中学校増設に対する三角同盟 1032

31 県会で第四中学校増設予算を否決 1033

32 第四中学校増設再議を求める建議 1035

33 中学校非増設派議員の辞表 1037

34 県会決議に関する上申 1037

35 第四中学校増設問題の調停成立 1039

二 四日市港の修築

36 四日市築港調査の三重県委員設置を否決 1040

三 木曾川の改修

37 木曾川等に河川法を施行 1041

38 木曾三川改修工事費のまとめ 1042

四 勸業政策

39 県勸業費予算の急増 1046

五 地価修正と増税

40 田畑地価修正法の公布 1049

41 地租条例中改正法律の公布 1050

42 地租増徴継続反対の農民大会 1051

第四節 地方財政

一 税負担の増加

43 国・県・市町村税負担の増加 1054

二 県・郡市町村財政

44 明治三一〜三九年度の県財政(歳入) 1056

45 明治三一〜三九年度の県財政(歳出) 1057

46 各種特別会計の設置 1060

47 郡市町村費の歳入出 1062

第五節 日露戦争と県民

一 開戦前

48 津市における日英同盟祝賀会 1063

49 第三師団動員時の要員取調べ 1064

50 軍役夫の募集計画 1066

二 動 員

(1) 召 集

51 第四師団へ第一回目の動員令 1069

52 動員第一日の執行事務の顛末申告 1070

53 第三師団へ最初の動員令 1071

54 阿山郡の召集状況 1072

55 津連隊区の充員召集状況 1074

56 桑名警察署の応召状況報告 1076

(2) 馬 匹 徴 発

57 徴発馬匹配当および差出日割表 1077

58 第四師団の馬匹徴発令 1081

(3) 復 員 員

59 最初の復員令 1082

60 凱旋部隊到着の子報 1082

三 後援事業等

61 軍人家族救護の訓令 1082

62 一志郡久居町の軍人家族保護規約 1084

63 一志郡波瀬村の村葬規定 1085

64 一志郡波瀬村各区青年者の軍人待遇法 1087

65 軍人および家族待遇法の大要一覧 1089

66 阿山郡の後援事業 1093

67 第一回国庫債券募集につき通達 1096

68 本県に及ぼす戦争の影響 1097

四 講和条約反対運動

69 講和条約に関する社説 1099

70 講和条約反対の山田市民大会 1100

71 講和条約反対の員弁郡民大会 1101

72 非講和県民大会 1102

付 表

一 県行政官一覧 1106

(1) 長 官 (知事・令・参事) 1106

(2) 補 佐 官 (参事・書記官等) 1108

(3) 警部(務)長 1111

(4) 郡 長 1112

(5) 区 長 1120

二 議員一覧 1123

(1) 三重県関係 貴族院議員 1123

(2) 三重県選出 衆議院議員 1124

(3) 三重県会議員 1126

(4) 三重県会議長・副議長 1132

三 県職員録 1133

(1) 度会県庁職員分課表 1133

(2) 三重県職員一覧表 1134

四 府藩県管轄地一覧 1137

五 大区小区一覧 1139

(1) 旧三重県 1139

(2) 度会 県 1153

六 三重県行政機構変遷図 1158

資料提供者および協力者 1162

あとがき 1163

付 録

三重県物数表 (明治五年) 1163

三重県官員分課表 (明治五年)

度会県一覧表 (明治六年)

伊勢暴動経過并被害箇所概図

大日本管 轄分地図 三重県管内全図 (明治四〇年版)

口絵目次

- 1 旧三重県庁舎（博物館明治村）
- 2 錦絵・伊勢暴動（部分）
- 3 地 券（壬申地券・改正地券）
- 4 五榜の立札（第一札）
- 5 各府藩県の印影
- 6 津藩東征軍の凱旋
- 7 度会県庁并構内諸建物図
- 8 建築間もない旧三重県庁舎
- 9 北牟婁郡役所
- 10 安濃川畔の旧県会議場
- 11 建議・建白書（立入家文書）
- 12 町村制施行関係文書
- 13 町村制施行時の旧磯部村役場
- 14 日露戦役凱旋門模写図
- 15 県庁保存文書（伊勢暴動関係）